

講義コード [7-1]		開講区分	1 学年 (前) ・ (後)
モデルフォレスト論		コマ数	講義(座学・実技)13コマ
		講師	久山慶子,中村孝行,熊谷 健 村上宏朗,阿部良平,志方隆司
目的	モデルフォレスト運動の概要を学び、市民参加の森林保全活動について実践する技術力、企画力を養成する。		
概要	多様な森林の利用に応える森づくりの手法を学び、市民参加の森林保全活動で実践する技術力、企画力を養成するため、講義及び実技を行う。		
講義	テーマ	講義内容	
1	京都のモデルフォレスト運動	モデルフォレスト運動の概要を説明し、実際の活動地域を事例に、活動主体と林業関係者の役割を概観する。	
2	森のサイン(情報発信)	看板・標柱・説明版など、森の訪問者への情報発信手法を解説。	
3	都市周辺森林の保全と活用	法然院観察の森と、その周辺で行われている森林整備技術を学ぶ。	
4		(1) 市民による「観察の森づくり」の活動をフォローするプロの仕事(大径木・広葉樹・枯損木等の伐採)と、これまでの実習で整備された森林(マツ天然更新、リョウブの森、尾根部の景観保全林)の管理方法を学ぶ。	
5		(2) 環境適応型植栽に、パッチディフェンスによる獣害防止柵を講じた森林整備を学ぶ。	
6			
7	地球規模で考え、地域で行動する	SDGsと森林の諸機能を解説し、みんなで森を守る大切さを確認する。	
8	企業のモデルフォレスト運動について	ゲンゼ(株)のモデルフォレスト運動を事例に、企業によるモデルフォレスト運動について、考え方と関係者の連携はじめ活動について学ぶ。	
9	モデルフォレスト活動参加	府内のモデルフォレスト運動に参加し、活動報告を提出する。	
10			
11	モデルフォレスト運動におけるプロの仕事	綾部市小畑城跡など、林大の実習地やプロと連携した現地を訪ね、府民ができること、プロが出来る支援を学ぶ。	
12			
13	試験		
評価方法	評価タイプ:A		
テキスト	必要な資料を配布します		
参考書			
備考			

講義コード [7-2]		開講区分	1 学年 前 ・ 後
<h1>森 林 保 護</h1>		コマ数	講義(座学・実技)15コマ
		講師	廣末絹男、尾崎 友紀ほか
目的	健全な森林を維持するため森林被害(獣害を除く)とその対策等について概要を学ぶ		
概要	気象害や病虫害など森林は様々な被害を受けるが、その概要と対策等について実習も含め学ぶ		
講義	テーマ	講義内容	
1	森林保護及び森林被害	森林保護について、森林被害の概要について	
2	森林被害各論	気象害、火災について	
3		森林病虫害、農薬の取り扱いについて	
4	スギ・ヒノキ穿孔性害虫と材質	スギカミキリ等材質に影響する穿孔性害虫について①	
5		スギカミキリ等材質に影響する被害と対策について②	
6	樹木医の概要、緑化樹の樹勢回復	樹木医・樹勢回復と菌根菌について	
7	マツ・ナラ枯れの被害と対策	マツノザイセンチュウ病・ナラ枯れ病の被害と対策について①	
8		樹幹注入の実習②	
9	マツ林の保全対策	マツの樹勢回復と生育環境整備について(天橋立)①	
10		マツの樹勢回復と生育環境整備について(天橋立)②	
11	樹木の樹勢回復	衰弱木の樹勢回復実技	
12			
13			
14			
15	試験		
評価方法	評価タイプ:A		
テキスト	必要な資料を配布します		
参考書			
備考			

講義コード [7-3]		開講区分	1 学年 (前) ・ 後
鳥 獣 被 害 対 策		コマ数	講義(座学・実技)15コマ
		講師	田中朝日、江浪敏夫
目的	鳥獣による農林業被害の現状と対策の概要及び狩猟に関する基礎について学ぶ		
概要	ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル等の主要な加害鳥獣の生態及び農林業被害の現状と対策の概要、また狩猟に関する基礎について学ぶ		
講義	テーマ	講義内容	
1	鳥獣害対策概要	鳥獣害の現状、対策の概要	
2	シカ及びイノシシの生態と防除対策	シカ及びイノシシの生態と防除対策	
3	ツキノワグマ及びサル等の生態と防除対策	ツキノワグマ及びサル等の生態と防除対策	
4	被害の防除	被害の防除対策	
5	被害防除のための集落点検	被害防除のための集落点検	
6			
7	防除計画の作成	集落点検を生かした防除計画の作成	
8			
9	防護柵による被害防除	防護柵を実際に設置し、設置の手順、効果的な設置方法を学ぶ	
10			
11			
12			
13	捕獲について	狩猟に関する法令等	
14	猟具の取扱	狩猟等に用いる銃器、檻、罠の取扱	
15	試験		
評価方法	評価タイプ:A		
テキスト	必要な資料を配布します		
参考書	狩猟読本		
備考			

講義コード [7-4]		開講区分	1 学年 前	後
特 用 林 産		タイプ・総コマ数	学科	12 コマ
		講 師	廣末絹男、外部講師ほか	
目 的	特用林産物に関する基本的な知識の修得			
概 要	山村地域の重要な資源であり、林業経営において比較的短期間で収入を上げることが出来る特用林産物に関する基礎知識を実習等を交えながら学ぶ			
講義	テーマ	講義内容		
1	山村の暮らしと特用林産	特用林産物の概要や種類、需給動向、利活用の事例(地域特産の丹波マツタケ、丹波くりなど)について		
2	丹波クリのせん定技術・炭基礎知識	クリのせん定技術と炭の種類、特性、利用について		
3	きのこの栽培の基礎知識	きのこの種類や成分、生態、栽培について		
4	きのこ生産現場の視察	京丹波町内の原木および菌床きのこ生産現場の視察(瑞穂農林株式会社、辻農園)		
5				
6				
7	原木しいたけ栽培実習	しいたけの植菌実習(京丹波森林組合)		
8				
9	竹の基礎知識	竹の種類、生態、用途		
10	竹林整備実習	たけのこ、竹材生産林の整備、見学		
11				
12				
評価方法	評価タイプ:A			
テキスト	必要な資料を配布します			
参考書	森林林業実務必携			
備考				

講義コード [7-5]		開講区分	1 学年	前	後
森林機能保全		タイプ・総コマ数	学科	15コマ	
		講師	三好岩生、足立亘		
目的	生態系の発揮する調節的サービス(土砂災害防止、土壌保全等)を提供する森林の整備手法を学ぶ。				
概要	森林整備技術を地球の医者(皮膚科)に例え、それぞれの症例(荒廃)と治療(整備)を紹介し、「施業」以上「山腹工」未満の手間をかける侵食防止施業等の実地研修を行う。				
講義	テーマ	講義内容			
1	森林機能保全総論	森林が発揮する多面的な機能について、地質構造、災害防止の観点との関連も含めた概況を学ぶ			
2	地すべり、崩壊、土石流(マス・ムーブメント)	地すべり、崩壊(深層崩壊、表層崩壊)、土石流のメカニズムと森林の影響、林業関係者としての役割について解説			
3	保安林と治山事業	保安林制度と治山事業の関係を説明し、溪間工事及び山腹工事の工種や施工方法について解説			
4	治山工事現地見学	南丹地域の治山施設を見学し、溪間工、山腹工の工種や配置の考え方を解説			
5					
6					
7	侵食防止施業の概要と現地見学	侵食防止施業の考え方と概要を説明した後、実施現場を見学し、実際の施業方法を確認			
8					
9					
10					
11	嵐山国有林の保全と活用	京都を代表する景勝地「嵐山」を訪ね、災害に対する備えと風光明媚な景観維持のための「折り合い」を考えた治山工事や森林整備の技法等を見学し、行政、研究機関、地元関係者の連携活動の実態を学ぶ			
12					
13					
14					
15	試験	筆記試験			
評価方法	評価タイプ:A(座学試験と実習レポートにより評価)				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					
備考	災害地復旧の植栽:育林技術2				